

チオシクラム水和剤 エビセクト水和剤	取扱メーカー： 三井アグロ、ホクサン 原体メーカー： 日本化薬
成分： チオシクラム〔ネライストキシ系 PRTR・1種〕…50.0%	性状： 類白色水和性粉末63 μ m以下 毒性： 劇物 消防法： —

【品目特性】……………

- 有機リン系、カーバメート系、ピレスロイド系殺虫剤とは全く異なる殺虫作用機構のため、これらに抵抗性の発達したコナガなどにも有効である。
- 接触毒性と食毒性を併せ持つ殺虫剤で速やかなノックダウン効果を有する。
- 低温条件下でも高い殺虫性を示す。
- 植物体中への浸透移行は速やかで、幼虫食入後でも防除効果が高い。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

〈コナガ〉

- 抵抗性発現回避のためエビセクトだけの連続散布はさけてBT剤、有機リン剤、カーバメート剤、ピレスロイド剤、IGR剤などとの交互散布が重要である。

〈イネシンガレセンチュウ〉

- 必ず乾燥もみ（浸種前のもみ）に処理する。
- 浸漬処理した種もみは水洗せず、数時間放置し風乾後浸種する。
- 浸種は停滞水中で行う。浴比は1：2とし、水の交換はしない。但し、水温が高く酸素不足になる場合には静かに換水する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 稲の種子消毒に使う場合は必ず乾燥もみを用いる。
- シクラメンに使用する場合は、あらかじめ散布し薬害がでないことを確かめたうえで使用する。花及び蕾には薬害を生じるおそれがあるので、この時期には使用しない。

- 本剤を使用した場合は、カルタップ又はベンスルタップを含む農薬は使用しない。
- かきに使用する場合は、果実の着色直前以降は使用しない。
- たばこ、なすにはかからないように散布する。
- 適用作物（かき、キャベツ、はくさい、だいこん）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（たばこ、なす）への薬害の注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさける。

【安全対策上の注意】……………

- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。
- 種子消毒した種もみは食用や飼料に供さない。
- 眼に刺激性があるので眼に入らないように注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。使用後は洗眼する。
- 魚類、甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- ドジョウに特に影響を及ぼすので注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期 (収穫前)	本剤及びチオシクラムを 含む農薬の総使用回数	使用方法
稲	イネシンガレセンチュウ	1000～ 2000倍	浸種前	本剤：1回 チオシクラム： 4回以内（種もみ 浸漬は1回以内、 粒剤は3回以内)	24時間種 もみ浸漬
茶	チャノホソガ チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	1000倍	摘採 14日前 まで	1回	散布
かき	カキノヘタムシガ	1000～ 2000倍	30日前 まで	4回以内	
	チャノキイロアザミウマ	1000倍			
キャベツ	アブラムシ類	1000～ 1500倍	7日前まで	3回以内	
はくさい	アオムシ		14日前まで		
だいこん	コナガ	1000倍	21日前まで	2回以内	
たかな	アオムシ コナガ		7日前まで		
チンゲンサイ	アオムシ コナガ マメハモグリバエ				
しゅんぎく	マメハモグリバエ		2000倍	14日前まで	
シクラメン	ミカンキイロアザミウマ	1000倍	発生初期	5回以内	